

**【課題番号】 5-1654**

**【研究課題名】**

乳幼児のアレルギー症に対するパラベン・トリクロサン等の抗菌性物質の曝露・影響評価

#### 研究の全体概要

パラベンやトリクロサンは歯磨き粉や石鹸、化粧品、シャンプーなどの日用品に防腐剤・抗菌剤として使用される化学物質であり、最近になって、これらの物質への曝露がアレルギー疾患の危険因子である可能性を示す研究報告が欧米から散見されるようになってきた。しかしながら、これらの研究においては曝露経路や曝露量との関係が示されていないばかりか、曝露指標となるトリクロサン・パラベンの尿中濃度の測定法の妥当性にも大きな問題があることも指摘されている。パラベンやトリクロサンの曝露指標および影響指標を開発することによって、パラベンやトリクロサンの曝露量の低減化によりアレルギー疾患を予防するために、これらの曝露と影響を正しく評価することは喫緊の課題である。わが国だけでなく安価で輸入される外国製商品の使用によるこれらの化学物質曝露の実態調査も行い、将来の生活必需品に関する安全を保障するための知見を集約し、行政的な施策決定における重要な基礎データを提供することも本研究の目的である。

**【5-1654】乳幼児のアレルギー症に対するパラベン・トリクロサン等の抗菌性物質の曝露・影響評価（金沢大学）**

**パラベンとは**

主に飲料向けの防腐剤として使用されているが食品や医薬品あるいは化粧品の防腐剤成分としても用いられる。

**トリクロサンとは**

広く一般細菌に対する殺菌剤として殺菌作用を目的に石鹸、シャンプー、歯磨き等の医薬部外品に含まれる。

**パラベン・トリクロサン等の抗菌性化学物質の社会問題**

抗菌性作用があり、食や生活の安全を担保する役割もあるが人によっては有害性、特に食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患を引き起こしたり、症状の増悪をもたらしたりするかもしれないが、不明な点も多い。

アレルギー疾患に関するパラベン・トリクロサン等の  
抗菌性化学物質の総合的研究

**【サブテーマ1】住民疫学研究**

金沢大学にてこども全数調査を石川県志賀町で実施



**【評価内容】**

食事調査を含む生活習慣、パラベン・トリクロサン曝露調査と尿中パラベン・トリクロサン濃度（保存されたスポット尿を利用、新日本科学で測定）

**【調整する因子】**

年齢、性別、その他質問票上の回答内容

**【統計解析】**

多重ロジスティック回帰分析、GEE等

**【サブテーマ2】病院患者研究**

国立成育医療研究センターなどで症例対照研究を実施



小児食物アレルギー患者

VS

健常乳幼児

小児喘息患者

VS

健常乳幼児



**【サブテーマ3】測定法の開発研究**

新日本科学株式会社にて抗菌性物質のより精度の高い測定法を開発

環境政策への貢献

**【サブテーマ4】動物実験**

高知大学にて発症メカニズムを解明

1. パラベン・トリクロサンのアレルギー疾患リスクに対する疫学および病院研究による新しい予防法を開発する
2. 生活必需品に関する安全を保障するための知見を集約し、行政的な施策決定における重要な基礎データを提供する